

がら、先進的な取組みも注目される



商業都市として栄えるエリア、観光スポットが集まるエリア、など、さまざまな表情を持つのが特徴です。



おすすめスポット

手賀沼周辺には、自然・グルメ・歴史が楽しめるスポットが点在しています。もっと詳しく知りたい方は、「TEGANUMA WEEKEND」のHPをチェックしてみてください。

道の駅しょうなん

地場野菜や特産品の購入・食事が可能。最近リニューアルし、観光拠点としても充実。



北柏ふるさと公園

四季折々の花や緑、水辺に集まる野鳥観察が楽しめる。レンタサイクルや飲食施設もあり、ゆったりとした時が過ごせる公園です。



旧手賀教会堂

首都圏内に現存する最古のギリシャ正教会堂のひとつで、県の文化財にも指定されている。



TEGANUMA
WEEKEND



タカラその1

歴史と生きものの宝庫 手賀沼でのんびり自然散策

都心からもっとも近い天然湖沼として知られている手賀沼。古くから周辺では農業や漁業が盛んに行われてきた湖沼で、美しい景観と豊かな文化と歴史を誇る地域の宝です。

現在は、多様な水鳥や水生植物の生息地となっており、野鳥観察の名所としても有名です。そんな豊かな自然に恵まれている手賀沼は、週末ののんびり過ごし自然とふれあえる場としてぴったり。秋は、気温も落ち着くため、サイクリングや周辺散策で自然を満喫できます。サイクリングロードは約9kmで、心地よい湖畔沿いの風を感じながら、木々が色づきはじめた秋の景色を楽しんでみましょう。

CONTENTS

- 2 千葉のタカラ 柏市
- 4 那須の森ヴィレッジ
- 6 「親子スキー教室」開催のお知らせ
- 8 特定健康診査でメタボをチェックしましょう！
- 10 「貯金利息計算書（決算）」を送付します
- 11 入学・修学貸付をご活用ください／「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」の発行について
- 12 退職等年金給付は、どんな人が受け取れる？
- 14 メンタルヘルス教室
- 15 特約店からのお知らせ／契約施設等からのお知らせ／年金者連盟
- 16 令和7年度 地区別共済制度（医療）研修会が開催されました
- 18 交通事故にあったとき／負傷原因調査にご協力をお願いします
- 20 こんな給付ご存じですか？休業給付／医療費支払いのしくみ
- 23 上手な薬局のかかり方
- 24 被扶養者の認定基準について
- 26 標準報酬の月額随時改定について
- 28 組合員証等の経過措置終了に伴う資格確認書の交付について
- 29 産前産後休業期間中は掛金が免除されます／「介護保険第2号被保険者資格に関する届出書」の提出についてのお知らせ
- 30 事務局職員採用試験のお知らせ
- 31 千葉県市町村職員互助会からのお知らせ
- 32 子ども・子育て支援金制度／共済組合からのお知らせ
- 33 ライフプランシミュレーション／直営施設をご活用ください！／「お宿ねっとメンバーズカード」のご案内
- 34 ちば共栄サービスからのお知らせ
- 35 全国共済施設案内「茨城」
- 36 黒潮荘つうしん
- 38 オークラ千葉ホテルニュース

Q 「柏市へ来たらぜひここへ！」というおすすめがあれば教えてください

A 柏駅周辺には多くの飲食店が集積しており、某有名飲食店紹介サイトの掲載数も、県内トップレベルを誇っています。そんな柏市では、飲食に関するイベントも豊富に開催され、10月19・20日には柏駅前を中心とした食べ歩きイベント「ユルベルトKASHIWAX」、11月1日には柏ふるさと公園にて、市内のグルメやお酒が集結する「手賀沼オータムバル」が開催されます。ぜひ多彩な飲食店で心とおなかを満たし、食欲の秋を楽しんでください。



▲オータムバルの様子



豊かな自然と歴史をもちな

千葉県北西部の中心に位置する柏市。

宅地開発が進むエリア

●お問い合わせ先
04-7167-1111 (柏市役所)

タカラその2

柏市で行われている取り組み

日常の行動が健康とポイントにつながる市民参加型アプリ

(フィット)
ワニFit

2025年に柏市が正式リリースした健康づくりアプリ「ワニFit」は、歩数、食事、体重、血圧、フレイル予防活動などの記録に応じてポイントが付与され、電子マネー等と交換できる仕組みです。マイナポータル連携により医療保険情報を取得することもでき、誰もが自然と健康づくりに取り組めるよう工夫されています。



市民が“気軽に・楽しく”健康と向き合える場づくり

まちの健康研究所 あ・し・た

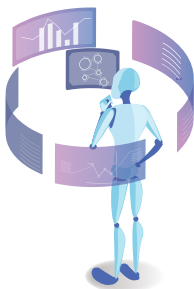


2014年に開設された、ららぽーと柏の葉内にある参加型の健康拠点。市民は無料で体組成の測定やウォーキング体験、栄養・口腔ケアの講座などに参加でき、自分の健康状態を“見える化”しながら生活習慣改善に取り組みます。多世代が自然と集う交流の場にもなっており、地域ぐるみの健康づくりを後押しする拠点です。

地域全体を実証フィールドとした、持続可能な未来都市モデル

柏の葉スマートシティ

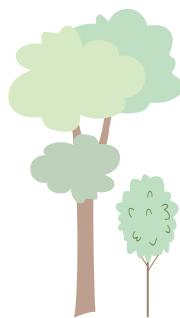
柏市・三井不動産・東京大学などが連携し、「環境共生」「健康長寿」「新産業創造」の3つのテーマで次世代のまちづくりを推進するプロジェクト。再エネを併用した街区間を横断した電力融通、データ連携基盤を活用した健康支援サービス、市民と企業、研究者をつなぎオープンイノベーションにより課題解決に取り組むリビングラボなど、先端サービスの実施と多分野での実証・社会実装に向けた挑戦が行われています。



「持続可能なまち」と「健康長寿」を支える先進的な取り組み

柏市は、超高齢化社会や気候変動などに起因する喫緊の社会課題の解決に取り組むことで日本を、世界をリードしていく、皆があこがれ、住みたい・住み続けたい、訪れたいと思うまちを「リーディングコアシティ」という言葉で表し、地域を牽引する魅力あるまちを目指しています。つくばエクスプレス沿線の柏の葉エリアでは、「公・民・学」が連携し、柏の葉国際キャンパスタウン構想を推進し、再生可能エネルギー技術の開発、ICTを活用した健康支援、自動運転

の実証などの取り組みを行っており、様々な実証とその社会実装を推進しています。市全体では、健康づくりアプリ「ワニFit」により、市民一人ひとりの行動変容を促す仕組みも導入。こうした取り組みは、単なる先進事例にとどまらず、他自治体への展開も可能な「地域発の社会モデル」として全国的に注目されています。柏市は今後も、地域とともに持続可能な未来都市のあり方を先導していく存在といえるでしょう。



現役広報に聞く

柏市のこと



柏市役所
Aさん

Q 柏市として近年力を入れている取り組みはありますか？

A 柏市では、「持続可能な未来へつなぐ 脱炭素のまち 柏」を掲げ、令和7年度にゼロカーボンシティ推進課を創設し、脱炭素の取り組みを進めています。地域新電力会社「かしわパブリックエネルギー株式会社」の設立などのエネルギーの地産地消、市内で生産されている農産物や都心部に最も近い天然湖沼手賀沼などの地域資源を活かした食や地域資源の地産地消も推進し、柏市ならではの「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいます。

